

大人の湯

特集 キャンピングカーで味わう



1. 水明館・佳留堂山荘の野趣に富んだ露天風呂。雄大な北アルプスの風景を眺めながら天然温泉が楽しめる 2. 湯YOUパークを利用してつるぐキャンピングカー

ホテルや旅館の温泉設備を楽しみながら、
キャンピングカーの中で寝るといった新しい宿泊スタイルが人気を呼んでいる。

「湯YOUパーク」というシステムのことだ。

このシステムは、今から3年ほど前に日本RV協会 (JRVA) が提唱して、

日本全国のホテルや旅館の有志から協力を受けて発足したもの。

それまでキャンプ場や道の駅、立ち寄り湯の駐車場、高速道路のSAやPAなどで宿泊していた
キャンピングカーユーザーに新しい活用スタイルをもたらしたのとして評判がいい。

約1,000㎡の広さを誇る滝の湯ホテルの大浴場。和モダンデザインの傑作



1. 海が見える天然温泉として有名な「道の駅伊東マリンタウン」のシーサイドスパ 2. 街の夜景と満点の星がパノラマのように広がる日本平ホテルのスカイラウンジテラス 3. 萩湾が一望できる萩観光ホテルの日本庭園。夜は水銀灯でライトアップ 4. エステティック施設を持っている湯YOUパークパートナーならば、心身ともにリフレッシュすることが可能 (伊東マリンタウン) 5. 一流のシェフが腕をふるうレストランで料理を味わうこともホテルの醍醐味 (島原観光ホテル小涌園)

湯YOUパークは、ホテルの部屋を取るよりも安く宿泊できるうえに宿泊客と同等の入浴サービスが受けられるところに特徴がある。もちろん、ホテルの駐車場を借りるための若干の費用が発生するが、ユーザーにとっては誰にとがめられることもなく堂々と宿泊できるし、通りがかりの車両が入って来ないために安全性も保たれる。ドライバーがエンジンをアイドリング状態にしたまま仮眠を取るような産業車両もないので、安眠も確保できる。

この湯YOUパークの一番の魅力は、なんといってもホテル・旅館が贅を凝らしたお風呂をたっぷり味わえることだろう。特に老舗の格式を誇るホテルや旅館ともなると、新興の温泉センターなどとはひと味違った風雅な情緒を持っている。落ちついた大人の「湯」として完成されているわけだ。キャンピングカーが日本に根づく前から、多くの人々によって築き上げられた文化と伝統の厚みとっていい。

また、そういう施設で提供される料理も、年季の入ったシェフが精魂込めて作るものが多い。時には夕食の予約を入れてリッチなディナーを味わうことも、ホテル文化を楽しむ醍醐味のひとつだろう。

ホテルや旅館だけが持っている美点は、それだけではない。訓練された礼儀正しいスタッフによって供給される質の高いサービスを得られることだ。キャンピングカーの旅を豊かなものにできるかどうかは、そういう人間の与えてくれるサービスの贅沢さに触れられるかどうかにかかってくる。

湯YOUパークの拠点となっているホテルや旅館の多くは幹線道路からも近い。キャンピングカーで長旅をするときは、キャンプ場に向かうまでの“つなぎ”や都市観光の拠点として使うと非常に便利だ。キャンピングカーは、都市とフィールドの間を自由に行き来できる乗り物だが、二つの世界をつなぐ中継点として、湯YOUパークが果たす役割は大きい。

湯YOUパークは キャンピングカーライフを変える

© RV&キャンピングカーガイド編集長 町田厚成

キャンピングカー初心者にも最適な旅行システム

「アクティブ・シニア」と呼ばれる団塊の世代が定年を迎える2007年を間近にして、その世代を中心に、今キャンピングカーへの関心が高まりつつある。定年退職後に日本を一周してみたいと希望する夫婦の数が増え、それを実現するための手軽なツールとして、キャンピングカーという存在が中高年の注目を集めてきたからだ。

それに応じて、キャンピングカーメーカーもここ数年の間に、夫婦2人で使うのに適した商品を次々と投入して市場を活性化させてきた。シニア夫婦が旅行にキャンピングカーを使うというライフスタイルは、すでに欧米では常識化されているが、その流れが、ようやく日本でも定着してきたと見るべきだろう。

そこで問題となるのは、そのキャンピングカーを使って、日本のユーザーがいったいどのような旅行を実現するのかということである。

実際に定年退職を迎え、いよいよ夫婦2人で長距離旅行を…と意気込んだ人々が初めてキャンピングカーに乗り込んだとき、いった

いどこに泊まったらいいのか、最初の夜から戸惑ってしまう人は多いに違いない。道の駅で仮眠を取るのには、慣れないうちは不安がつきまとうだろうし、高速道路のSAやPAは一晚中クルマの出入りがあって落ちつけない。キャンプ場で泊まるのが一番良いのだが、それも初めてともなれば、宿泊ルールなどを身につけていないのではなかろうかという心配が出てきてしまう。

そういう人々に対しては、私は日本RV協会（JRVA）が提唱している湯YOUパークというシステムを紹介することになっている。これはJRVAと提携している日本全国のホテル・旅館の温泉施設やレストランなどを活用しながら、宿泊だけは駐車場に停めた自分のキャンピングカーで済ますというもの。ホテルの持つ利便性やセキュリティの確保を、安価な宿泊料で享受するというところに最大の魅力がある。土日やGWなどは宿泊を受けつけないホテルもあるが、定年後ならそれも苦にならないだろう。

リッチな環境を楽しむことこそ夫婦愛の要

湯YOUパークは、ベテランユーザーにもお薦めだ。ベテランともなれば、すでに自分のキャンピングカー活用術をしっかりと身につけているため、なかには多少の出費が必要となるホテルの駐車場泊に魅力を感じないという人もいるだろう。

しかし湯YOUパークには、キャンプ場泊や道の駅泊とは違った楽しみが用意されている。

まずは料理である。夫婦で長距離旅行をするとなると車外で調理ばかりではいられない。コンビニ弁当が続いても飽きる。ドライブインの料理も、初めて入る店の場合には味の保証がない。

その点、まず一流のシェフや板長が責任を持って提供するホテルや旅館の料理ならハズレがない。多少の割高感を感じる人もいるだろうが、私はそういう場所でたまにリッチな食事を採ることも、長距離旅行に必要なアクセントだと思っている。

礼儀正しいウェ이터や着飾った一般客がいるような場所で食事をするには緊張感がともなうこともあろう。たまにホテルのレストラン

で食事を取るからには、ジャケットぐらい羽織らないとならない。化粧も念入りしておいた方がいい。そう思う気持ちが、良い意味で夫婦のテンションを高め、2人の思考パターンや行動にメリハリを与えることになる。

時には、食後にバーカウンターに陣取ってカクテルなどを飲むのもいい。結婚前の恋人同士だった頃の時間がよみがえってくるのは、そういう時だ。

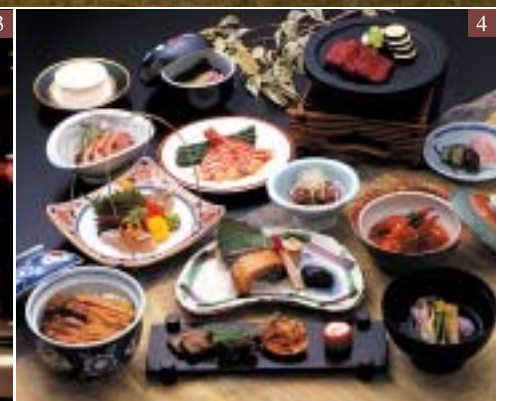
湯YOUパークのパートナーとして登録されているホテルや旅館には、美しい庭園を持っているものも多い。また一般の観光客がなかなか目にするのでできない充実したギャラリーを備えている施設もある。単にお風呂に入って駐車場に寝るだけではもったいないホテルや旅館がいっぱいあるのだ。

そういう施設を丹念に探し出しながら旅していくことも、これからは新しいキャンピングカーの楽しみ方になっていくように思う。



旧鍋島藩主の別邸後につくられた慧洲園は、武雄センチュリーホテルが誇る有名な日本庭園のひとつ

夜景を楽しむ



1. 日本平ホテルの夜の庭園風景 2. サウナも含め、ジャグジー、打たせ湯などバラエティーに富んだ温泉が楽しめる笹井ホテル 3. ディスコで踊る人々の姿を眺めながらカクテルを楽しむのも一興（笹井ホテルのディスコ&バー） 4. 地元の新鮮な素材をたっぷり使った料理を味わえるのが湯YOUパーク（笹井ホテル）



食事を 楽しむ

5. 笠山の中腹に建てられた萩観光ホテルのロビーからは、萩湾の素晴らしい眺望が堪能できる 6. 萩に生まれた郷土画家、大和義男氏の風景画など30点を展示した萩観光ホテルのギャラリー 7. 1万5千坪の広さを誇る庭園と富士山を見ながらの朝食（日本平ホテル）

パートナー〈ホテル・旅館〉からの 湯YOUパークを有効に活用するためのアドバイス

利用者から寄せられた意見 (くるま旅クラブホームページより)

キャンプ場のように使えて便利だった
斑尾高原ホテル(長野県)

親子3人とペット1匹で、長野県の斑尾高原ホテルに行きました。このホテルは「斑尾モーターツーリストパーク」という独自の湯YOUパークシステムをとっており、ホテルから700m離れたスキー場の駐車場にキャンピングカーを停めさせるようになっています。

そのかわり、24時間利用できるトイレやAC電源、水場も用意され、キャンプ場のような使い方ができます。ホテルからパークまではシャトルバスで送迎してもらえるので、まったく不自由はありませんでした。天然温泉のお風呂には大浴場や露天風呂、サウナもあり、とても快適でした。
(くるま旅クラブ会員・大阪府のファミリー)

スタッフの誠実な対応が印象に残った
ヴィラ・イナワシロ(福島県)

妻の父母と4人で「ヴィラ・イナワシロ」に行きました。夕食と朝食は4人で一緒に取りましたが、私たちはクルマの中に泊まり、父母はホテルの部屋を取りました。従業員の方々はみなとても純朴で親切でした。翌朝観光スポットを尋ねたところ、丁寧にクルマの大きさまで考慮に入れて、観光施設の案内をしてくれました。

今まで私は、このような駐車場を借りて車中泊することはあくまでも緊急避難的な手段だと考えていましたが、湯YOUパークは立派な宿泊方法だということが分かりました。今後はもっとこのシステムが使えるホテル・旅館が増えることを期待します。(くるま旅クラブ会員ファミリー)

のんびりと大晦日を過ごすには最適
ホテル坂戸城(新潟県)

大晦日の夜、ホテル坂戸城にて湯YOUパークを体験しました。しかし、いざ利用してみると、一般の宿泊客から「お金がないのか?」などと思われたりしないだろうか…。浴衣がけの人ばかり歩いている館内で、普段着で歩くと目立ち過ぎたりしないだろうか…。そんなことばかり気になって仕方ありませんでした。自分たちだけの勝手な思い過ごしだと思いますが、もっと湯YOUパークの利用者が増えてくれば、こういう気づきも不要になるでしょう。

それ以外のことでは、とても満足のゆくホテルでした。広いお風呂に入り、館内の和食処で、家族そろって紅白歌合戦を見ながら、うまい酒(八海山)を飲み、年越しそばを食べました。従業員の方々にもとても親切にいただきました。(埼玉県のファミリー)

郊外型の湯YOUパーク 都市の喧騒から開放されるチャンス

当ホテルは、東名静岡IC、清水ICともにクルマで10km(25分)圏内という良好なアクセスに恵まれながらも、標高308mの山頂にあるため、「郊外型の湯YOUパーク」をお楽しみいただけます。郊外型の湯YOUパークの特徴は、市街地の場合とは異なり、広い駐車場を確保しているホテルが多く、また道中の景観にも恵まれるところにあります。さらに、都会の喧騒から離れることになりやすいため、静かに休みたい方に最適です。

当ホテルは「日本観光地百選」第1位に輝いた景勝の地として知られている場所に建てられていますので、駐車場に泊まられても1万5千坪の庭園を散策されても、霊峰富士の優美な姿をご堪能いただけます。ロビー、レストラン、バーラウンジからは、いずれも富士山と三保の松原、清水港の美しい風景がご覧になれますので、お食事や食後の歓談の場所としてご活用ください。富士山が夜のとばりに包まれた後は、満天の星の下に静岡市全域の夜景が広がります。ご夫婦やご家族の旅の思い出として、いつまでも記憶に残るような一夜をお過ごしください。



静岡県静岡市
日本平ホテル 宮澤支配人

町のだ真ん中での湯YOUパーク 町中での利用はタイミングが勝負

当ホテルは、別府市内の中心部にあるため、クルマの出入りが激しいという特徴があります。また駐車スペースにそれほど余裕がありませんので、ご予約をいただいても、お車をお預かりできる保証がありません。近くにいられたときにご連絡をいただき、駐車場の空きがあればお受けするという状況です。そのかわり、空いていればマイクロバス程度のキャンピングカーならいつでも対応できますので、遠慮なくお越しください。

別府市内は、有料駐車場も混んでいることが多く、運良くキャンピングカーを停められたとしても長時間の場合は料金がかさみます。その点当ホテルでは、湯YOUパークの車中泊料金として2,100円、入浴料金として大人様500円。子供様250円頂戴しますが、天然温泉100%の源泉かけ流しなので、お客様たちからは「別府らしい温泉をゆっくり楽しめた」と喜ばれています。

お客様にお願いしたいのはゴミの処理です。ご相談頂ければ、少量の分別ゴミであれば私どもで処理を引き受けますので、駐車場に捨て置きなどしないようお願い申し上げます。



大分県 別府温泉
ホテル好楽 小出英治さん

都市近郊の湯YOUパーク 市内観光の拠点とするなら徒歩15分が目安

観光シーズンになると、岐阜・高山の町は乗用車でさえも駐車スペースを確保するのが大変になります。当旅館は、高山まで徒歩15分(約1km)ほどの距離にありますので、キャンピングカーで来られたお客様の多くは、当館に停められてから町まで散歩気分であふかれ、戻ったらお風呂で汗を流すという使い方をされています。数は少ないのですが、レンタサイクルも用意しておりますので、町まで行くにはそれを利用いただくこともできます。

お料理に関しましては、飛騨牛を中心としたメニューが評判が良く、キャンピングカーのお客様からのご予約をいただくことが多くなりました。食事を目的に来られる方が増えてきたのはうれしいことですが、食材の数量には限りがありますので、お料理をご希望される場合は、なるべく当日の午前10時頃までにご予約くださるようお願いいたします。また、ご予約を入れられるついでに、駐車する車両の種類やサイズなどもお教えください。キャンピングカーが混み合ってきた時は、あらかじめそういう情報をいただいていた方が助かります



岐阜県高山市
旅館 霧氷館 女将さん